

ベルコート®水和剤

BELLKUTE

登録番号 第18821号

種類名 イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤
iminoctadine tris (albesilate)

殺菌剤分類 M7

性状 類白色水和性粉末 45 μm以下

有効年限 5年

有効成分 イミノクタジンアルベシル酸塩 40.0%

毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

包装 (100g×25袋) × 4箱、500g×20袋

■特長

- 幅広い抗菌スペクトラムを有し、多くの病害に対して優れた予防効果を発揮します。
- 作物に対する安全性が高く、登録作物が多いため使いやすい薬剤です。
- 細胞膜に作用し、膜機能や脂質生合成を阻害します。また、他剤と作用点が多いため各種の薬剤耐性菌に対しても高い効果があります。

最新の登録内容、
SDSはこちら

■適用病害名及び使用方法

(2022年10月26日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(l/10a)	使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	使用方法
りんご	黒星病 斑点落葉病	1,000 ~ 2,000	200 ~ 700	収穫前日まで	6回以内 但し、 開花期以降 散布は 3回以内	8回以内 〔液剤及び水和剤 は合計6回以内 (開花期以降 は3回以内)、 塗布剤は2回以内〕	散布
	輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病 黒点病	1,000					
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病	1,000 ~ 1,500		収穫14日前まで	5回以内	5回以内 〔塗布剤は2回以内 液剤は1回以内〕	
	黒星病	2,000		収穫前日まで	3回以内	3回以内 〔休眠期は1回以内〕	
もも	灰星病 うどんこ病 ホムプシス腐敗病 すすかび病 果実赤点病	1,000 ~ 2,000					
おうとう	灰星病	1,000		収穫7日前まで	2回以内	2回以内	
みかん	灰色かび病	1,000 ~ 2,000		収穫前日まで			
	そうか病	1,000					
かんきつ (みかんを除く)	灰色かび病	2,000		収穫14日前まで	3回以内	3回以内	
かき	炭疽病 落葉病 うどんこ病 灰色かび病 すす点病 黒星病	1,000 ~ 1,500					
キウイフルーツ	果実軟腐病 灰色かび病 貯蔵病害 (灰色かび病)	1,000	収穫前日まで	5回以内	5回以内		

殺菌剤 ベルコート水和剤

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	使用方法
マンゴー	炭疽病	1,000	200～700	収穫14日前まで	2回以内	2回以内	散 布
あけび(果実)	うどんこ病	3,000					
小粒核果類(うめ、すももを除く)	黒星病 灰星病 灰色かび病 環紋葉枯病	2,000		収穫30日前まで	3回以内	3回以内	
うめ	すす斑病 枝枯病						
すもも	灰星病	1,000～2,000	収穫3日前まで	3回以内	3回以内		
びわ	灰斑病 灰色かび病	1,000	収穫7日前まで				
キャベツ	菌核病		収穫14日前まで				
すいか	菌核病 炭疽病		収穫前日まで	4回以内	4回以内		
	うどんこ病						
メロン	つる枯病	5回以内	5回以内				
かぼちゃ	うどんこ病	1,000～2,000	100～300	収穫7日前まで	4回以内	4回以内	
ズッキーニ		2,000		収穫前日まで	7回以内	7回以内	
きゅうり	褐斑病	2,000～4,000					
	灰色かび病						
うり類(漬物用)	うどんこ病 炭疽病	収穫3日前まで	5回以内	5回以内			
	つる枯病						
なす	すすかび病 灰色かび病 うどんこ病	3,000	収穫前日まで	3回以内	3回以内		
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	1,000	100～500	収穫7日前まで	5回以内	5回以内	
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病		収穫前日まで				
ねぎ	さび病 黒斑病	2,000	100～300	収穫30日前まで	3回以内	3回以内	
にんにく	葉枯病	1,000～1,500		収穫3日前まで			
				菌核病	1,000	収穫14日前まで	5回以内
にんじん	黒葉枯病	500～1,000	乾燥種子重量の0.5%	は種前	1回		
		-					
トマト	葉かび病 灰色かび病	3,000～6,000	100～300	収穫前日まで	3回以内	3回以内	散 布
ミニトマト		6,000			2回以内	2回以内	

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ /10a)	使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	使用方法
レタス	灰色かび病 菌核病	1,000～ 2,000	100～ 300	収穫14日前 まで	3回以内	3回以内	散布
いちご	炭疽病	1,000		育苗期 (定植前)	5回以内	10回以内 〔育苗期は5回以内 本圃では5回以内〕	
	うどんこ病	4,000		収穫前日 まで (生育期)	5回以内		
豆類(種実) (ただし、だいず を除く)	炭疽病 褐斑病	1,000		収穫7日前 まで	3回以内	3回以内	
ばれいしょ	夏疫病	500			5回以内	5回以内	
やまのいも	葉渋病	1,000～ 2,000	種いも 重量の1%	植付前	1回	5回以内 〔種いもへの処理 は1回以内 無人航空機散布 は3回以内〕	種いも 粉衣
	青かび病	—					
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌による)	1,000	200～ 400	摘採7日前 まで	2回以内	2回以内	散布
たばこ	赤星病 うどんこ病 灰色かび病	1,000～ 2,000	100～ 180	収穫10日前 まで			
樹木類	炭疽病	1,000	200～ 700	発病初期	3回以内	3回以内	

⚠ 効果・薬害などの注意

- 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- りんごに使用する場合、芽出し2週間過ぎから落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。
- なしに使用する場合、西洋なし品種ル レクチェではさび果を生じるので使用しないでください。
- ももに使用する場合、缶桃14号などの缶詰用品種では葉に葉斑を生じるので使用しないでください。
- おうとうに使用する場合、着色始期から中期の散布では薬害(着色障害)が生じるおそれがあるので使用しないでください。
- かきに使用する場合、西村早生では葉に葉斑を生じるので使用しないでください。
- メロンに使用する場合、交配2～3日前から交配2週間後までの幼果の時期には、薬害を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。また、若葉への散布や高温時の散布では、薬害を生じることがあるので注意してください。
- キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると、薬害を生じる場合があるので、展着剤混用にあたっては事前にその適否を確認してください。
- ばらに対して薬害を生じるので、かからないように注意して散布してください。
- 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意して散布してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意   

15. 誤飲、誤食などのないよう注意してください。
16. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
17. 皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
18. 薬液調製時および使用の際は保護メガネ、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
19. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
20. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
21. 街路、公園などで使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物への影響：水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した場所に保管してください。

○使用量に合わせ調製し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

【農薬をご使用の際は】

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には、使用しないでください。
- 小児の手の届く所には、置かないでください。
- 空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。